いギタ

曲詞

作作 馬林 飼野生 俊

あこ何白 なのかい た頃理ギ のと直夕 の身辺(まわ)とても(わけ)でもうしても 変え である のるは ので 小さな事が ようか

秋花恋愛 のをの 陽摘予あ ざむ感う が が草 原嬉人 まにしに ぶ くは くは 7

あ黙何爪 なっかを たて理か のい由むりのともをのし、 気あ止 小にるめ さなのた なるでの 事のしは が ょ ようか

秋花恋愛 のをの 陽摘予あ ざむ感う が が草 原嬉人 まへしに ぶそくは しうて くげ てん

秋花恋愛 のをの 陽摘予あ ざむ感う が が草 原嬉人 まぶしくて しくて しくて しくて しくてん)

ラララ

白いギター(1

1 変えたのは 作曲: 馬飼野俊 1 1

理 由 (わけ)でも

あこあ なほので 身辺(まわり)のこても、気に もう気気 に になるの

小さな事が

秋花恋愛 をの 陽摘予あざむ感う 原嬉 まぶし くは くて に

白いギター2

作曲:馬飼野俊一作詞:林春生

あ黙あ なってるた を か 理か 曲 のいで さ う多辺(まわり)の (わけ) (T) を よ う ~ か も になるの あたの は

花恋愛 をの 済形感が 嬉人 しに くはて

小さ

な事が

原 場ざし かに まぶしくて

いギタ

3/3

作作

秋花恋愛 予あう 陽描ざむ 早原(そうげん) くは くにて

ラララ: